

■心のバリアフリーに関する既存の研修プログラム等（好事例）

①経済界協議会で検討している「心のバリアフリー研修」

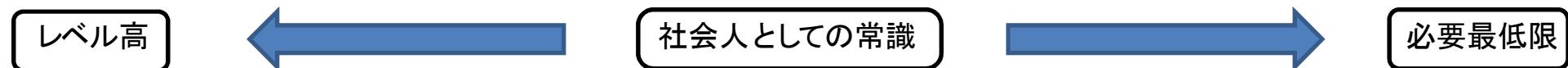
「心のバリアフリー」研修の進め方 素案)

2016年10月28日

オリンピック パラリンピック等経済界協議会 ソフトレガシーウーリング③

○ ソフトレガシーウーリング③では以下の通りの内容を素案として作成したところ。今後、メンバー企業内において、人事部門等に諮ることとしており、必要に応じ、検討委員会に追加情報を提出する。

1. 研修のパターン



	アドバンスト	ベーシック	エントリー																																																																														
研修の対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営レベル（トップ層） ・社内での「心のバリアフリー」推進リーダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャー職以上、全員 ⇒ 受講者（マネージャー職以上）は各職場に戻り メンバーに対し受講での“気づき”を展開 *展開スピードは会社規模/取組み状況に よって異なるため、目標は各社で設定 (ex 2020年までにマネージャー職以上全員が受講) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Massを意識した導入教育として、社員全員が 受講（ex 新人研修等） 																																																																														
進め方	<p>研修時間：4.0時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集合研修で、講義パート/実技パートとも実施 ②実技パートは、障がい当事者の方も含めた研修を実施 ③実技研修での障がいパターンは複数を実施 ・受講者20名に対し、講師は4~5名必要 （講師のうち、2~3名は障がい当事者） 	<p>研修時間：1.5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講義パートは、E-learningにより事前に学習する ②集合研修では、実技パートを中心に実施し 障がい当事者の方も含めた研修を実施 ③但し、実技研修での障がいパターンを限定 ・受講者20名に対し、講師は3名必要 （講師のうち、1名は障がい当事者） 	<p>研修時間：0.5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講義パートは、E-learningにより事前に学習する ②DVD等での映像による、障がい者の体験談を学習 （障がい当事者参加はDVD等を介して） ・講師1名で数100名への講義が可能 （但し講師は、障がい当事者ではない） 																																																																														
カリキュラム例)	<table border="1"> <tr> <td>心のバリアフリーとは</td> <td>説明</td> <td>20分</td> <td rowspan="13" style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 計4.0H (含、休憩) </td> </tr> <tr> <td>日本の現状</td> <td>説明</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>障がいがある方のお話</td> <td>講演</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>サポートの心構え</td> <td>デイスカッション</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>高齢者とは</td> <td>デイスカッション</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>車いすを使用している人</td> <td>実技</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>視覚に障がいがある人</td> <td>実技</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>聴覚に障がいがある人</td> <td>実技</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションが苦手な人</td> <td>説明</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>お手伝いが必要な人</td> <td>説明</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者補助犬</td> <td>説明</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>シンボルマーク</td> <td>説明</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td>質疑応答</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>* 詳細スケジュールは別添参照</p>	心のバリアフリーとは	説明	20分	計4.0H (含、休憩)	日本の現状	説明	10	障がいがある方のお話	講演	20	サポートの心構え	デイスカッション	25	高齢者とは	デイスカッション	15	車いすを使用している人	実技	30	視覚に障がいがある人	実技	30	聴覚に障がいがある人	実技	20	コミュニケーションが苦手な人	説明	10	お手伝いが必要な人	説明	15	身体障がい者補助犬	説明	10	シンボルマーク	説明	10	まとめ	質疑応答	5	<p>講義パートはE-learningで事前学習：30分】</p> <table border="1"> <tr> <td>心のバリアフリーとは</td> <td>説明</td> <td>10分</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 計1.5H </td> </tr> <tr> <td>サポートの心構え</td> <td>デイスカッション</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>車いすを使用している人</td> <td>実技</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>視覚に障がいがある人</td> <td>実技</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>聴覚に障がいがある人</td> <td>実技</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td>質疑応答</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>* 詳細スケジュールは別添参照 * 障がい当事者参加の実技は1つに絞る * 上記3点の実技はあくまでも例であり 他の障がいの実技の場合もあり * 会社規模/取組み状況により、実技 講習の数を絞るケースはあり得る</p>	心のバリアフリーとは	説明	10分	計1.5H	サポートの心構え	デイスカッション	5	車いすを使用している人	実技	30	視覚に障がいがある人	実技	30	聴覚に障がいがある人	実技	20	まとめ	質疑応答	10	<p>講義パートはE-learningで事前学習：30分】</p> <table border="1"> <tr> <td>心のバリアフリーとは</td> <td>説明</td> <td>2分</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 計0.5H </td> </tr> <tr> <td>DVD等での映像による 障がい者の体験談視聴</td> <td>視聴</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>DVD等での映像による 車いす等のサポート方法 説明</td> <td>視聴</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>障がいのある人の 特徴や、接し方の ポイント説明</td> <td>説明</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>私たちがすべきこと 私たちにできること</td> <td>デイスカッション</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td>質疑応答</td> <td>3</td> </tr> </table>	心のバリアフリーとは	説明	2分	計0.5H	DVD等での映像による 障がい者の体験談視聴	視聴	5	DVD等での映像による 車いす等のサポート方法 説明	視聴	5	障がいのある人の 特徴や、接し方の ポイント説明	説明	5	私たちがすべきこと 私たちにできること	デイスカッション	10	まとめ	質疑応答	3
心のバリアフリーとは	説明	20分	計4.0H (含、休憩)																																																																														
日本の現状	説明	10																																																																															
障がいがある方のお話	講演	20																																																																															
サポートの心構え	デイスカッション	25																																																																															
高齢者とは	デイスカッション	15																																																																															
車いすを使用している人	実技	30																																																																															
視覚に障がいがある人	実技	30																																																																															
聴覚に障がいがある人	実技	20																																																																															
コミュニケーションが苦手な人	説明	10																																																																															
お手伝いが必要な人	説明	15																																																																															
身体障がい者補助犬	説明	10																																																																															
シンボルマーク	説明	10																																																																															
まとめ	質疑応答	5																																																																															
心のバリアフリーとは	説明	10分	計1.5H																																																																														
サポートの心構え	デイスカッション	5																																																																															
車いすを使用している人	実技	30																																																																															
視覚に障がいがある人	実技	30																																																																															
聴覚に障がいがある人	実技	20																																																																															
まとめ	質疑応答	10																																																																															
心のバリアフリーとは	説明	2分	計0.5H																																																																														
DVD等での映像による 障がい者の体験談視聴	視聴	5																																																																															
DVD等での映像による 車いす等のサポート方法 説明	視聴	5																																																																															
障がいのある人の 特徴や、接し方の ポイント説明	説明	5																																																																															
私たちがすべきこと 私たちにできること	デイスカッション	10																																																																															
まとめ	質疑応答	3																																																																															

2. 予想される課題 ⇒ 課題解消に向けての取組み必要

(1)当事者参加について

- ・費用の問題（通常の研修に比べ人件費増）
- ・どの団体に依頼すれば良いかのノウハウなし
- ・研修のできる障がい当事者の数が十分か不明

(2)研修場所の確保

- ・例えば車いす体験の場合、社内の
スロープや多目的トイレは数に限界
- ③社内講師、派遣講師の育成
- ・これまでにない研修のため育成マニュアル要

3. その他コメント

- ・実際は個々の企業によって、障がい者に対する理解度が異なるため、研修のやり方やパターンもその状況に応じて変えていく（ex: 既に職場で障がい当事者と働いている等）
- ・上記導入コースがDVD等の映像しか使わず、“社員の研修への共感度”が低下することは明らか。Massを意識した上で、要工夫